

**I 教育目標**

- 自ら進んで学習し、創造性に富んだ人をめざそう
- 心身を鍛え、勤労と責任を重んずる人をめざそう
- みんなと協力して、持続可能な社会をつくる人をめざそう

**II 経営方針**

<b>目指す学校像</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日の登校が楽しみになる学校</li> <li>○学ぶ楽しさ、ふれあう喜びを感じる学校</li> <li>○生徒が誇りに思い、家庭や地域から信頼される学校</li> <li>○教職員がやりがいを感じる学校</li> <li>○コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校</li> </ul>
<b>目指す児童（生徒）像</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○好奇心旺盛で、自ら進んで学ぼうとする生徒</li> <li>○互いを尊重し、支え合い、励まし合い、切磋琢磨し、いじめを許さない生徒</li> <li>○進んで心身を鍛え、粘り強く取り組む生徒</li> <li>○規律を守り、礼儀を重んじる生徒</li> <li>○視野を広げ、社会に貢献しようとする生徒</li> </ul>
<b>目指す教師像</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常に研究と修養に努め、専門性を磨き、質の高い教育実践を行う教師</li> <li>○常に生徒理解につとめ、生徒の良さを引き出し、生徒の心身の成長を促す教師</li> <li>○常に教育公務員としての自覚と見識をもち、社会の模範となる教師</li> <li>○チーム学校の一員として協働する教師</li> </ul>
<b>経営理念</b>	<p>「教育推進プラン・江東（第3期）」を踏まえ、『江東区教育理念』の実現を目指し、本校の特色を生かした教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「明珠在掌」の精神に基づく、自己肯定感の高い生徒の育成</li> </ul> <p>本校の伝統である校訓「明珠在掌」の精神に則り、生徒一人一人が持つ無限の可能性を尊ぶ。日々の教育活動を通じて「学ぶ楽しさ（わかる・できる）」や「ふれあう喜び（支え合う・教え合う）」を実感させ、豊かな人間性と高い自己肯定感を備えた生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○信頼に応える「地域とともにある学校」の推進</li> </ul> <p>保護者や地域の信託に応えるため、連携・協働を一層密にし、開かれた学校づくりを推進する。学校だよりやホームページ等を活用して教育活動を積極的に発信するとともに、地域社会と一体となった生徒の健全育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ・スクールとしての「学校力」の向上</li> </ul> <p>教職員が常に研鑽に励み、専門性を高めるとともに、地域学校協働本部を中心とした協働意識を醸成する。家庭・地域と一体となった「チーム砂町中」として組織力を発揮し、地域社会との連携による生徒の育成を通して、学校の教育力を総合的に高める。</p>

### Ⅲ 経営目標

重点領域 1		学力向上
中期経営目標	生徒一人一人が「主体的な学習者」として成長することを目指し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、それらを活用する思考力・判断力・表現力を育成するとともに、予測困難な時代の諸課題に立ち向かう力と態度を培う、最適な学習環境を構築する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種学力調査等の結果分析を基に本校の課題を明確にし、具体的な授業改善を組織的に推進する。</li> <li>○ICT機器を効果的に日常使いし、学習機会の保証と「主体的・対話的で深い学び」を両立した授業を展開する。</li> <li>○生徒の習得状況を踏まえたPDCAサイクルを確立し、全ての生徒が「わかる・できる」を実感できる授業づくりに努める。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)に基づき授業規律の徹底と基礎的・基本的な知識・技能の定着に100%の教員が取り組む	「授業に集中できるようになり、基礎的・基本的な知識や技能が身に付いた」と回答する生徒が85%以上。
2	ICT機器を効果的に活用し、生徒の学習意欲を喚起し、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善に取り組む教員が100%。	1人1台端末を学習の道具として適切に使いこなし、自ら進んで課題を追究し互いに高め合う生徒が90%以上。
3	シラバスに基づく授業実践及び評価の一体化を図り、生徒が学習の成果を実感し、自身の学習改善に取り組めるよう指導する教員が100%。	見通しをもって学び、自身の「わかる・できる」ようになった成果を実感するとともに、課題を振り返り、自らの学習方法の改善(PDCA)に取り組む生徒が90%以上

重点領域 2		豊かな心の育成
中期経営目標	生徒一人一人の自己肯定感を高め、多様性を認め合い他者を思いやる心を醸成するとともに、生徒が主体となって「いじめや暴力を絶対に許さない」安心・安全で温かい集団づくりを推進する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の授業等を核として、他者との多面的・多角的な議論を通して自身の生き方や考えを深め、いじめを「しない・させない・許さない」強い実践力を醸成する。</li> <li>○行事や部活動、日常の学校生活を通して、多様な他者と協働的に関わり、互いの良さを認め、支え合い、励まし合える集団づくりを推進する。</li> <li>○丁寧な教育相談や日常的な観察から生徒一人一人の状況を的確に把握し、全教職員の共通理解の下、生徒が自己存在感を実感できる安心・安全な居場所づくりに努める。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「考え、議論する道徳」への転換を図り、生徒の本音を引き出す発問や展開を工夫するとともに、未然防止の視点に立ったいじめ防止教育を全教科・領域で推進する教員が100%。	「いじめは許せない」と回答する生徒が100%。
2	様々な場面で生徒が互いに認め合い、活躍・貢献できる機会を意図的に設定し、集団としての絆を深める指導を行う教員が100%。	仲間と協力して行事や日常の課題に取り組み、互いの良さや頑張りを認め合い、困っている仲間がいたら進んで声をかけ、支え合おうとする
3	生徒に寄り添い、悩みを受け止め、SCやSSWとの連携を図りながら、組織的に問題解決を図る教員が100%。	自身の悩みや不安を抱え込まずに、教職員や専門家(SC等)に安心して相談するとともに、周囲の支えを実感する。

<b>重点領域 3</b>		健やかな体の育成
<b>中期経営目標</b>	生徒一人一人が自らの健康や体力に関心を持ち、生涯にわたって心身の健康を維持増進しようとする態度を養うとともに、基本的な生活習慣の定着と安全意識の高揚を図り、活気に満ちた健康的な学校環境を構築する。	
<b>短期経営目標</b>	○体育の授業の充実や、部活動・日常の運動機会（昼休み等）の確保を通して、生徒が体を動かす楽しさを味わいながら、全校を挙げた基礎体力の向上に取り組む。 ○食育や保健指導、専門家による講演を効果的に活用し、睡眠・食事・運動などの望ましい生活習慣の定着と、メディア（SNS等）との適切な付き合い方を身に付けさせる。 ○避難訓練や交通安全教室等の充実を図り、日常の危険予測・危険回避能力を高めるとともに、自他の命を守り抜く安全で安心な教育環境を組織的に維持する。	
<b>項目</b>	<b>努力指標（教師側）</b>	<b>成果指標（こども側）</b>
1	体育の授業において「めあて」に沿った運動量を確保し日常的に運動に親しむ環境を整える。	授業や部活動等で目標を持って主体的に運動に親しみ、自らの体力を高めようと粘り強く取り組む。
2	保健・食育指導を充実させ、生徒自身が睡眠や栄養摂取などの生活習慣を振り返り、自己管理できるように指導・啓発する。	規則正しい生活（睡眠・朝食・運動）の大切さを理解し自分の心と体の健康を意識して自己管理する。
3	学校施設等の安全点検を徹底し、地域の危険箇所を踏まえた実践的な避難訓練や安全指導を行い、生徒の自助力・共助力を高める。	校内外のきまりを守って安全に行動するとともに、災害や事故などの危険を予測・回避し、いざという時には自他の命を守るために正しく判断し行動する。